



35名が参加し終日受講



講習会のようなす

岡山県代協(谷川明義
会長)では毎年恒例の救
命講習会を11月29日、岡
山市中区の岡山市中消防
署で開催した。今回で8
回目の開催となり、従来
の普通救命講習(3時間)

一般消費者9名を含む35名
の参加者が、最後まで熱
心に講習に取り組んだ。
「応急手当講習」キス
「ト」に基づいたメニュー
の異物除去の訓練など、

AED等の実技訓練を

岡山県代協 上級救命講習会を開催

は盛りだくさんの内容
で、午前中は、まず消防
署員による応急手当の基
礎知識の講義を受け、三
角巾を使った外傷の応急
処置の実技、毛布やトレ

休養をはさみながら受講
した。
午後からは、DVDで
応急手当の重要性につい
ての講習を受けた後、岡
山市消防団の消防団員も
インストラクターとして
加わり、小グループに分
かれ、心肺蘇生とAED
の使用方法を中心とした
救命処置の実技訓練を行
った。受講者は成人向け
・小児向け・乳児向けの
3パターンの訓練を交代
で実施した。
実技講習後、インスト
ラクターから想定を付与
されたの3人1組で行う
「実技試験」では、臨機
応変に対応できたグルー
プ、練習のようにはスム
ーズにできなかったグル

ープもあったが全員が合
格となった。
最後に、効果測定(筆
記試験)があり、満点の
人ばかりではなかったも
のの合格点の知識習得済
みと判定され、35名全員
が無事ピンク色の修了証
を手にした。
同代協では、会員1人
ひとり、いざという時
に自然と応急手当や救命
処置などの対応できるよ
う、今後も訓練の機会を
提供していく予定だとし
ている。